

広報

やまゆり

第 94 号

2024・1・6

社会福祉法人明峰福祉会
特別養護老人ホーム

やまゆり荘

〒449-0211

東栄町大字中設楽

字松久保1-3

☎0536-79-3534

回覧

ホームページ

[https://www.](https://www.meiho-f.com/)

[meiho-f.com/](https://www.meiho-f.com/)



歳の初めに

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当施設の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、職員一同心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も第5類へと移行いたしました。インフルエンザもここ数年は市中感染が激減しておりますが、年末には荘内での感染者が発生し、ご承知のように面会の制限をさせていただき、ご不便をおかけしました。

さて、この地域は人口減少とともに高齢化が進んでいます。地域に根ざした高齢者福祉施設としての責務を常々感じ、職員もサービスの提供に持てる力を注いでいるところですが、残念ながら職員不足が常態化しているのが現状です。

施設を取り巻く環境が大きく変化している中で、質の高い福祉サービスを安定して継続的に提供することを目指し、ご入所者の皆様が安心して暮らして頂けるサービス提供に職員一同努めてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



新年のお屠蘇配り

毎年恒例の元旦のお屠蘇配り。新年のご挨拶を入所者様一人ひとりにしながら、邪気を払い、無病長寿の願いを込めてお屠蘇をお配りさせていただきました。今年も入所者様に楽しく安全に過ごしていただくよう職員一同努めてまいります。

生活相談員



自己研鑽

9月22日、事故防止、褥瘡予防、身体拘束・虐待防止等の研修を行いました。研修の中で「リスクヘッジ」と耳慣れない言葉が出てきました。「リスクヘッジ」とは、起こりうるリスクを予測し、対応できる体制を備えること。介護現場では必ず事故が起きるものとして、それを防止する対応と努力が大事となります。日々、仕事に追われていて学ぶことが疎かになりがちですが、研修会で学ぶことを実践につなげて、仕事への姿勢を考え直す機会となりました。

介護統括チーフ



運動会を開催しました

10月某日、やまゆり荘の運動会を行いました。コロナも落ち着いたとはいえまだまだ油断はできないので、各棟それぞれで玉入れを楽しみました。みなさん一生懸命力ゴめがけて玉を投げ、カゴに入るとうれしそうな顔

で、入らないと次の玉をもらって真剣な顔で狙いをさだめていました。

みなさんのいろんな表情が見られて楽しかったです。体を動かした後はおいしいおやつが待っていましたね。
すみれ棟介護士I



町民作品展示会へ出品

今年の作品は「虹」をテーマに作品作りを進める事にしました。

調べてみると日本では虹は七色とされていますが、国や民族、時代によってその色（と数）は異なるようです。入所者様に虹の色について聞いてみると「知らなかった」という言葉を多く耳にしました。

作業を進めていくと「きれいな色だね」と皆さんから褒めて頂きました。

残念ながらみんなで会場に見学に行く事はできませんでしたが、今年も利用者様のご協力を得てすばらしい作品を出品することが

できました。そして今年もアクリルたわしは人気でした。

来年は会場に足を運べる事を願います。

すみれ棟介護士M



クリスマス会を開催

12月20日、やまゆり荘内にてクリスマス会を開催しました。12月に入り各棟での飾りつけを行ったり、やまゆり荘の職員間でサンタクロースの帽子をかぶって業務にあたらせて頂きました。

クリスマス会当日には、トナカイの格好をした職員と入居者の皆さんでクリスマスソングを歌い楽しい時間を過ごす事が出来たと思います。

おやつにはロールケーキを提供させて頂きました。好みの物を選ぶように何種類か用意していただき、皆さん「どれがいいかな」と嬉しそうに選んでみえました。「おいしい

ね、おいしいね」との声が聞かれ大変嬉しかったです。

皆さんと楽しい時間を過ごさせて嬉しかったです。
ひまわり棟介護士S



「ご寄付をいただきました」

「たらちねの会」様からご寄付をいただきました。

いただきました「ご寄付」は、当施設のご利用者のために大切に活用させていただきます。

ありがとうございます。

